

# 甲府市 農業委員会だより



発行 甲府市農業委員会  
住所 〒400-8585  
山梨県甲府市丸の内一丁目18番1号  
電話 055-237-1161(内線7344)  
055-237-5892(直通)  
FAX 055-227-8719  
編集 甲府市農業委員会だより  
編集委員会



関東農政局長から多面的機能発揮促進事業で優秀賞を受賞された  
七覚むらづくり協議会のみなさん

## おもな内容

第78号

- 農地の貸し借りが行いやすくなりました .....2
- 甲府市への意見書に対する回答 .....3
- 農政情報コーナー .....4
- お知らせ .....5、6

# 農地の貸し借りが行いやすくなりました

～農地銀行、農地中間管理機構を利用する場合～



令和3年9月から、農地銀行や農地中間管理事業を利用して農地の貸し借りをする際に、借りる方の農業経営面積の下限面積が撤廃されましたので、貸し借りが行いやすくなりました。

また、売買をするときの基準も見直されました。

※農地法を利用した貸し借りや売買をする場合は、下限面積がありません。詳しくは農業委員会事務局までお問い合わせください。

※農地の貸し借りや売買をするときは、農業委員会での手続きが必要です。

手続きをしないで無断で貸し借りや売買をすると、法律違反になりますので、必ず手続きをしてください。

☎ 甲府市農業委員会  
☎(237)5892

## 貸借・売買が可能な基準【令和3年9月から】

契約の内容	下限面積	その他の要件
貸借	無	新規就農者は営農計画書を提出する
売買	無	「認定農業者」又は「認定新規就農者」である ※認定新規就農者は1年以上の営農経験がある

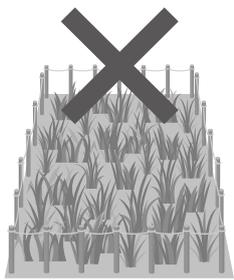
(基本的条件) ・農作業従事日数 年間150日以上 ・耕作状況 耕作放棄地が無いこと

### 農地を適正に管理してください

農地は、農業に利用することで農産物の生産供給や洪水防止に寄与し、また、心やすらぐ景観も創出されますが、農地の管理が適正に行われていないと、雑草・雑木が繁茂して、火災の原因や病害虫・獣害が発生する原因となり、防犯上も危険です。

現在、市内では、適正な管理がされておらず周囲の農地や近隣にお住いの方々に非常に迷惑がかかっている農地が見受けられます。

農地を所有している方、農地を借りている方は、責任をもって雑草や雑木の除去・伐根を行い、農地の適正な管理をお願いします。



農地を適正に管理しない場合は、法律違反になります。

☎ 甲府市農業委員会  
☎(237)5892

### 改正種苗法の一部が施行されました

種苗法は、登録品種の海外流出防止を主な狙いとして昨年12月に改正され、その一部が今年4月に施行されました。

#### 【主な改正点】

- ① 登録品種に海外持出し制限等の利用条件を付けられるようになったこと
- ② 登録品種の種苗の販売・譲渡時に、登録品種であることを、利用条件の表示が義務付けられたこと

\*なお、来年4月には、登録品種を自家増殖する場合に許諾が必要・育成者が認められた場合を除く)になります。

☎ 山梨県中北農務事務所  
農業農村支援課

☎0551(23)3291

令和3年度

# 甲府市への意見書に対する回答

農業委員会が令和2年10月8日に提出した甲府市農業施策に関する意見書に対して、令和3年4月28日に回答がありました。

★食育については、市内の小学校の給食に市産農作物を提供するとともに給食で使用した農作物及び甲府ブランド認定農作物を「給食

だより」へ掲載する

など、地産地消を推進してまいります。



## ▼農業の魅力発信と担い手確保について

### (市への要望)

●都市部に住む人や若い方などに対し、農業の重要性や良さをアピールをする等、次世代の担い手の確保に向けた各種の取り組み

●育ち盛りの子どもたちに地元の穫れたての農作物の美味しさを知ってもらい、好き嫌いをなくし、地元農産物の栄養価の高い穫れたてにこだわり、地産地消を一層促進することによる食育の推進

### (市からの回答)

★今年度から新たに、地域農業者等が行う農業体験や新規就農者の定着に向けた活動への支援を行います。

## ▼有害鳥獣対策等について

### (市への要望)

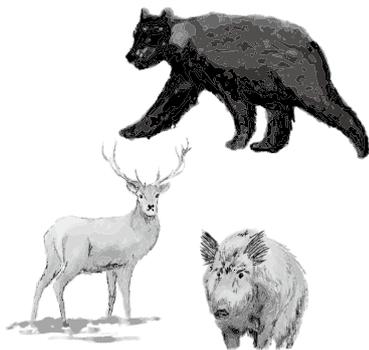
●獣害対策の侵入防止柵は、中道地区ではまだ設置されておらず、イノシシ、シカ、クマ等の害獣による被害が多発しているため、鳥獣侵入防止柵の早期着工

●有害鳥獣を捕獲する狩猟者が、高齢化や減少傾向にあることから、狩猟者の育成と支援

### (市からの回答)

★中道地区の有害鳥獣対策については、山梨県が現在実施している千代田地区の被害防止対策の完了の見通しと併せ、事業の効果や課題を検証する中で、検討してまいります。

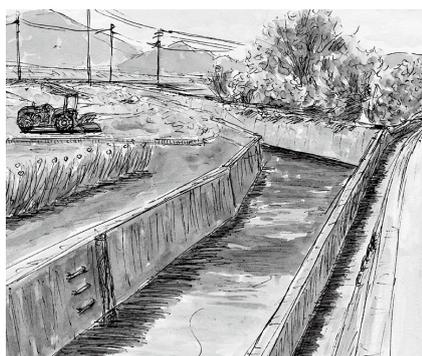
★狩猟者の育成については、新規に狩猟免許及び銃砲所持許可を取得した人に、予備講習会と射撃教習に係る受講料を補助しています。また、山梨県が猟友会を通じて実施している新規狩猟者の育成事業について、広く周知に取り組んでおります。



## ▼老朽化施設の修繕について

### (市への要望)

●農業生産基盤である農道や用水路、堰については、設置から長期間が経過し、舗装の破損や用水路の漏水など劣化が著しいため、施設の点検等を行い、補修や整備の強化を進め、安心して営農できるように環境整備の推進



### (市からの回答)

★老朽化施設の修繕については、市民の方からも農道や用水路等の修繕要望が多数寄せられています。「甲府市農業施設整備方針」に基づき、施設の更新や長寿命化による整備を順次実施しております。今後も、整備方針と併せて点検等により施設状況を把握する中で、計画的に実施してまいります。

## ▼その他について

### (市への要望)

●農業センター所有の貸し出し用の農機具について、使用頻度が高い農機具を増やし、耐用年数に捉われない更新時期の早期対応

### (市からの回答)

★貸し出し用の農機具については、機械のメンテナンス費用が増大しています。農機具の運転講習会における、安全で適正な使用の励行や、修理件数とその期間の縮減による利用率の向上を図り、利用者の要望を踏まえた農機具の貸し出しに取り組みたいです。



# 農政情報コーナー 【甲府市農政課】

「自然災害等のリスクに備えるためのチェックリスト」と「農業版BCCP」について

近年、自然災害（台風・大雪）等が多発しています。

農業者の備えとして農林水産省が作成し公表している「自然災害等のリスクに備えるためのチェックリスト」と「農業版BCP（Business continuity planing：事業継続計画書）」をご活用ください。

このチェックリストと農業版BCPは、被災後の早期復旧や営農再開の観点から、被害を事前に想定し、平時から対策しておくべき事項について確認できるものです。

チェックリストにある項目ごとに内容を記載することで、簡単に農業版BCPの策定が可能となります。

\*詳しくは、農林水産省ホームページ【農業版BCCP】

CP】で、ご確認ください。



「農業者向けスマートフォン(MAFFアプリ)」について

MAFFアプリは、農業に携わる皆さまに役立つ情報を農林水産省から直接お届けするスマホ用アプリとなっていますので、農業者の備えとしてご利用ください。

どなたでも無料でご利用いただけます。（ただし、通信に要する費用【データ通信料等】は、利用者の負担となります。）

また、プロフィールとして設定いただいたお住いの地域や作目、関心事項等に応じて、役立つ情報をお届けするとともに、現場

の情報を農林水産省に直接提供し、共有することができます。

\*詳しくは、農林水産省ホームページ【MAFFアプリ】で、ご確認ください。



農地銀行に基づく貸借に係る奨励金について

### 「借り手」

認定農業者及び認定新規就農者で、借り入れ面積との合計が認定農業者であれば50a以上（能登・宮本地区については40a）、認定新規就農者であれば20a以上となる農用地を耕作し、農地銀行を利用して農業振興地域内で0.1a以上の農地を3年以上借りた者に対して、その面積に

積に応じた奨励金を交付します。

【貸し手】  
認定新規就農者の認定を受けてから3年以内の甲府市在住の新規就農者へ、農地銀行を利用して農業振興地域内で0.1a以上の農地を3年以上貸した甲府市在住の者に対して、その面積に応じた奨励金を交付します。



### 奨励金の額

#### ●農用地区域以外

- 利用権設定
- ・3年以上6年未満 10,000円 / 10a
- ・6年以上 20,000円 / 10a

#### ●農用地区域以内

利用権設定

- ・3年以上6年未満 15,000円 / 10a
- ・6年以上 30,000円 / 10a

甲府市農政課

☎(298)4833

収入保険の保険料等への補助金について

本市では、自然災害のほか、けが・病気による作業不能、価格の低下など農業者の努力では避けられない要因による収入減少を補償し支援するために、収入保険制度へ加入している農家に対し、保険料及び事務費の10分の1を補助します。

甲府市農政課

☎(298)4833



# お知らせ

## 野焼き時の注意

農業者が行う稲わら・剪定枝などの焼却でやむを得ないものについては野焼きすることが可能ですが、煙や悪臭などで近隣の迷惑にならないように配慮してください。

また、火災の危険もありますので、火の始末についてもしっかりと消火するようお願いいたします。

問 甲府市就農支援課

☎(241)5616

## 爆音機の使用について

鳥獣被害防止のための爆音機について、騒音による苦情が寄せられています。

騒音によるトラブル防止のため夜間や早朝は使用しないなどのご協力をお願いします。

問 甲府市就農支援課

☎(241)5616

パワーアシストスーツ・電動せん定ハサミを無料で貸し出しています

農作業の効率化や省力化を目的としたスマート農業の実証と普及のため、パワーアシストスーツ・電動せん定ハサミを無料で貸し出しています。

問 甲府市就農支援課

☎(241)5616



## 親元就農者経営安定支援事業

親元就農する農家子弟の経営安定を支援するために補助金を交付する事業です。

■補助金額 百万円

■経営主(親族)の主な要件

認定農業者かつ人・農地プランに中心経営体として位置付けられている又は位置付けられる見込みの者

■交付対象者(子弟)の主な要件

①就農時に50才未満②親元就農した日から1年未満③経営主と家族協定を締結している④年間225日以上かつ180時間以上農業に従事している

問 甲府市就農支援課

☎(241)5616

## 人・農地プランの作成にご協力を

「将来にわたって地域の農業を誰が担っていくのか」「誰に農地を集積・集約化していくのか」など、5年

後、10年後の地域農業の在り方を地域で話し合い、今後の方向性をまとめたものを「人・農地プラン」といいます。

現在、農地利用最適化推進委員会を中心にプランの作成を行っていますので、ご協力をお願いいたします。

問 甲府市農政課

☎(298)4833

## 使わなくなった農機具・必要な農機具はありませんか？

使わなくなった農機具・必要な農機具がありましたら、お近くの農業委員や農地利用最適化推進委員へ相談をしてください。

問 甲府市農業委員会

☎(237)5892

## 農地の利用状況調査

9月に、市内の全農地を対象に現地調査を行います。

各地域の担当調査員による、農地への立ち入りや聞き取りなどの際には、ご理解とご協力をお願いします。

この調査は農地法に規定されており、毎年実施しています。

問 甲府市農業委員会

☎(237)5892

## 農地台帳調査

農業委員会では農地の賃借料や証明書の発行に役立つため、毎年秋に郵送による農地台帳調査を行っています。

農地台帳調査票が送付された方は、現況をご記入のうえ、同封の返信用封筒で指定の期日までに必ず提出してください。

問 甲府市農業委員会

☎(237)5892



農業女子グループの紹介

山梨県内で活動されている「やまなし農業女子」について、代表の片山京子様にお話を伺いました。

●会員の人数は何人ですか  
20代から50代までの方28人で、そのうち甲府市の方は3人です。

●どのような形でいつからスタートしましたか  
行政主催の講習会に集まった農業女子メンバーから、「与えられた場ではなく活動実践の場を作りたい」とい

う声があがり、平成31年4月に「やまなし農業女子」の活動を立ち上げ、農林水産省が運営する農業女子プロジェクトに参加するメンバーも多いことから、農業女子プロジェクト地域スピニアウト版（地域版グループ）として活動をスタートしました。

●どのような活動をされていますか  
活躍の幅を広げるための自己研鑽に係る活動、地域活性化に資する活動、山梨の農業とやまなし農業女子のPRの3つをテーマに、各種

令和3年3月に、河野功さん（七沢町）と志田健さん（右左口町）がプロフェーマーとして認定されました。「甲府市農業振興計画」の基本方針に掲げる「稼ぐ農業」の育成と拡大のため、本市農業を牽引する農業者を「プロフェーマー」として認定し、支援・施策を集中させることで、本市農業全体の引き上げを図ります。

河野功さん・志田健さんがプロフェーマーとして認定されました



河野さん 樋口市長 志田さん  
令和3年3月に、河野功さん（七沢町）と志田健さん（右左口町）がプロフェーマーとして認定されました。「甲府市農業振興計画」の基本方針に掲げる「稼ぐ農業」の育成と拡大のため、本市農業を牽引する農業者を「プロフェーマー」として認定し、支援・施策を集中させることで、本市農業全体の引き上げを図ります。

イベントや農産物の販売や紹介、フェイスブックなどを活用して活動を行っています。写真はマルシェでのメンバーの様子です。



マルシェにて

●やまなし農業女子に入るにはどうすればいいですか  
やまなし農業女子の趣旨に賛同し、一緒に楽しく取り組んでいただける農業女子メンバーを募集しています。

【参加資格】

- ・山梨県内で農業に従事している
- ・ご自身で生産した農作物を販売している
- ・やまなし農業女子ホームページにあるお問い合わせフォームよりお申込みください。

【やまなし農業女子】で検索してください

日本女性会議2021 in 甲府 分科会 未来へつなげる「農業食」の魅力

男女共同参画の実現をテーマとした、国内最大級の大会が、甲府市において10月22日～24日に開催され、23日には分科会が開かれます。農業は山梨の主要な産業の一つである一方、近年では、農業者の高齢化や担い手不足、耕作放棄地の増加など、様々な問題も抱えています。

この分科会では直面するこれらの課題を考え、今後とも農業が維持され、更に発展していく方策を探るとともに、農業や地域の魅力を再発見し、地域への愛着を育む「食育」についても考えます。



また、運営委員として、農業委員の米山夫佐子さんと落合洋子さんの2名も参加しています。

甲府市人権男女参画課

☎(225)3940

七覚むらづくり協議会

右左口町の「七覚むらづくり協議会」は、中山間地域の住みやすい環境を守り、育てて後世に引き継ぐために、耕作放棄地の管理や農地周辺の草刈り、花の植栽、交流会などの活動を地域ぐるみで行っていることが高く評価され、関東農政局多面的機能発揮促進事業局長から優秀賞を受けました。



優秀賞の表彰状

編集後記

近年、農業者も新規就業者や女性など、多様な担い手が増えていきます。そんな人たちにも、興味の持てる記事を増やし、甲府市農業のさらなる発展に貢献できれば嬉しいです。

編集委員 池田哲郎